



学部での学びについて



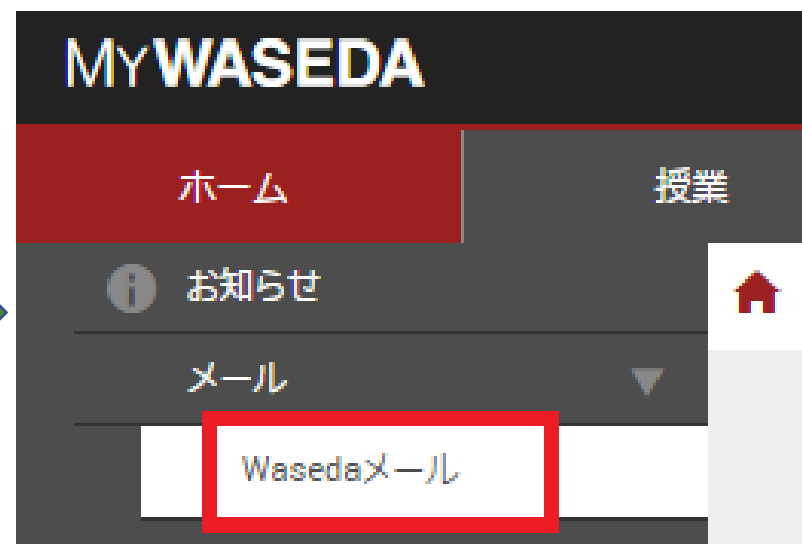
1. 全般の注意事項



MyWasedaとWasedaメール

MyWasedaとWasedaメールには、授業や学生生活に関する大事なお知らせが届きます。

授業期間中だけでなく長期休暇の時期も含めて、定期的にチェックする習慣をつけましょう。



MyWaseda > ホーム > メール > Wasedaメール

Waseda Moodle

Waseda Moodleでは授業の資料が配布されたり、小テストが行われたりします。Moodleにレポートを提出する場合もあります。「**必修基礎演習**」で使い方を練習するので、慣れておきましょう。



MyWaseda > ホーム > 授業支援 > Waseda Moodle



大事なお知らせを見逃さないために

工夫してメールを見逃さないようにしましょう。

- ・スマホのメールアプリでWasedaメールを見られるようにする
- ・よく使うメールアドレスにWasedaメールを転送する
- ・受信メールをフィルタリングする

●設定マニュアル

ITサービスナビ

> Wasedaメール利用案内

> Wasedaメール（学生・校友向け）



など

Wasedaメールには事務所や教員から大事なお知らせが届きます。
WasedaMoodleの教員からのメッセージもWasedaメールが届きます。

※メールを見落として、大切な書類や課題の提出期限を過ぎてしまっても、期限の延長などは認められません。



文学学術院事務所

事務所は学生生活の様々な手続きの窓口です。困ったことがあった場合は、まず事務所に相談してみましょう。

●場所

34号館1階

●開室時間

平日10時～16時

土日祝日は閉室





2. 初年次のカリキュラム



初年次教育のカリキュラム

履修区分	教育内容	春学期	秋学期
必修	基礎教育	必修基礎演習（2単位）	—
	導入教育	基礎講義（2単位）	—
	外国語教育	必修英語（2単位）	必修英語（2単位）
		基礎外国語（8単位）	基礎外国語（8単位）
選択	基礎教育	—	選択基礎演習（2単位）

基礎教育	アカデミック・リテラシーの涵養を目的とした教育
導入教育	人文学研究の広さ、深さに触れ、2年次以降の専門教育への入り口として学ぶことを目的とした教育
外国語教育	専門課程で活用ができ、さまざまな場面における幅広いトピックに対応できることを目的とした教育



必修基礎演習

必修基礎演習では大学での学修の基礎となるアカデミックスキルを学びます。1クラス30名ほどで、**必修基礎演習の担当教員が皆さんのクラス担任**となります。

★調べるスキル

必要な文献やデータを図書館等を活用して自分で探し出す。

★読むスキル

論文・評論などを読み解き、論題を立てる。

★書くスキル

ある程度の長さの論理的な文章（レポート）を書く。



レポート・論文作成の留意点

大学では、レポートや論文を作成する機会が増えます。

レポートや論文で、他人の文章を書籍やWebサイト等から**盗用・剽窃**すると、**不正行為**となり**厳しい処分の対象**となります。**停学3か月**＋盗用・剽窃を行った学期に履修している全ての科目が不合格となるため、**卒業が取消**となってしまう**可能性や留年**してしまう**可能性**もあります。

他人の文章や意見を自分のレポート等に記載するには、自分の文章と他人の文章を区別できるように**正しく引用**をしなければいけません。

必修基礎演習の授業で正しい引用方法について学びますので、正しく理解してレポート、論文作成を行いましょう。



こんな行為も不正行為です

レポートの再使用

ある課題のために**自分で作成したレポート**を使いまわして、別の課題のレポートとして提出すること。

代筆・書き写し

他人に作成してもらったレポートを自分のレポートとして提出すること。（生成AIにレポートを作成させることも含む。）

また、自分のレポートを友達に書き写させてあげること、友達のためにレポートを書いてあげること**も不正行為です**。

上記の行為はすべて不正行為となり厳しい処分（停学3か月＋不正行為を行った学期に履修している全ての科目が不合格）の対象です。



盗用・剽窃の検出

教員は専門分野に精通し大量の文献を目にしているので、**盗用・剽窃があると気づきます**。システムによっても、インターネット上の情報や他人のレポート等と類似している文章を検知し、**盗用・剽窃を検出できる仕組み**になっています。

The screenshot displays a plagiarism detection interface. On the left, a document titled "LMSとは" is shown, containing text about LMS (Learning Management System) and a list of bullet points. On the right, a sidebar titled "一致の概要" (Summary of Similarity) shows a similarity score of 78%. Below the score, a table lists the sources of similarity:

Rank	Source	Similarity
1	Waseda University へ 卒業生レポート	61% >
2	www.osaj.jp インターネットソース	17% >



3. 論系進級



文化構想学部では1年次に基礎教育を学び、
2年次から6つの論系に分かれ専門課程に
進級します。

論系	論系定員
多元文化論系	144
複合文化論系	144
表象・メディア論系	144
文芸・ジャーナリズム論系	144
現代人間論系	144
社会構築論系	144

※ 論系定員は、年度により変更されることがあります。

※ 多元文化論系の定員はGlobal Studies in Japanese Cultures Program (JCulP : 国際日本文化論プログラム) の学生を含みます。



進級に向けて

幅広い視野で学びたい論系を探す

- 1・3制を活かして、入学前の希望に縛られず、基礎講義や様々な講義科目を通じて、幅広く進級先を考えてみましょう。
- 春学期・秋学期に各論系による進級ガイダンスもあるので、是非参加してみましょう。

しっかりと学修に励む

- 進級に必要な単位を取得できていなければ進級できません（進級は年に1回なので、次の進級機会は1年後になります）。
- 論系の定員を超える希望者がいた場合、基本的に1年次の成績により選考されます。



ご清聴ありがとうございました